

第 12 回武蔵野市図書館運営委員会選書部会の記録

日 時 平成 15 年 10 月 15 日 午後 6 時
場 所 中央図書館 4 階会議室
出席委員 佐治俊彦部会長 藤井佐和子委員 山崎三省委員
森川西部図書館長 丸本係長
事務局出席職員 三木館長 柏倉係長 米山吉祥寺図書館長
並木主任 桐原主事 船崎専門委員

議題及び内容

○ 主な協議内容

武蔵野市図書館の選書について

その他

なお、主な意見等は以下のとおり。

- ・ アンケート結果（図書館だより）をより多くの人に見て欲しいので、カウンターではなく入口付近に置いて欲しい。
- ・ 市民図書館として市民の要望に答えることがメインなら今のままでいいのでは。
- ・ 高度な専門書は必要ないが、入門書（例えば大学の教科書）を幅広く収集した方が良い。
- ・ 行政資料について分館でも揃えて欲しいという要望があるが、スペースに制限がある。中央は市が発行した資料は確実に集め、分館は最低限にして、そのスペースを他に活用した方が良い。その分、書誌目録を充実させて、分館は中央から F A X で取り寄せという方法も考えられるが、書誌目録をそこまで充実させるのは難しい。
- ・ 全集が中央 3 階、吉祥寺 2 階にあり、一般書と離れてしまっている。案内の仕方次第ではより有効に活用されると思う。例えば「この作家の全集があります」という案内を出してみる。
- ・ 選書から市民サービスを考えると、何が求められているか、統計的に裏付けたい。ベストセラーの購入に限度があるが、市民に望まれる図書を充実するのが良いのではないか。
- ・ 新中央図書館建設時に市民の声により蔵書を充実させたため、スペースの都合で閲覧席が少なくなった。吉祥寺は 2 階（児童）のスペースを活用するなど方法があると思うが、本委員会では取り上げられる問題であろう。
- ・ 今後、図書館で調べものをするために図書館通いが始まる人が多くなるのではないか。それが読書につながっていくのでは。
- ・ 調べ学習の中高生が増えてきている。調べ方や図書館の利用方法を知らない子どもがいるので、その対応もしていきたい

- ・ 学校との連携で、学校の方からどういったものを調べるように言ったとかこのクラスではこういった話をしているというようなことの連絡をもらい、受入の準備をし、子ども達の要求に応えられるようする、ということを今年から始めている
- ・ 次回の全体会にまとめを出したい。
- ・ 新聞・雑誌や視聴覚資料、何をもって武蔵野市の特色とするかなどは第2期の課題としていきたい。